

第2学年 3学期期末テスト出題範囲

日時		教科	学習のポイント	出題範囲	提出物	提出日
2/19 (月)	1 限	国語	○授業でやった内容を、教科書やノートできちんと復習しておきましょう。 ○敬語については、丁寧語/謙譲語/尊敬語の使い分けができるようにしておきましょう。 ○古文については、誰が何をしたのか、話の内容を確認しておきましょう。 ○漢文については、書き下し文や、返り点の意味を理解しておきましょう。 ○ワークや単元テストのやり直しをし、記述問題に慣れておきましょう。 ○文法については、形容詞・形容動詞の活用形が分かるようにしておきましょう。 ○助詞や助動詞の分類ができるようにしておきましょう。 ※漢字については、小テストを行っているので、今回は出題しません。 ただし、漢字指定の問題はあります。	◇教科書 ・月夜の浜辺 ・平家物語 ・扇の的 ・徒然草 ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景 ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・文法（形容詞・形容動詞の活用形） （助動詞と助詞） （敬語） ◇国語の学習2（ワーク） ・本誌p.99～p.131 p.134～p.135 p.151～p.156 ◇ことばのきまり……p.23～p.37 p.44 p.39～p.41 ◇単元テスト 8 9 10 11	●国語の学習2（学習ノート） <u>本誌でも学習ノートでもよいので、どちらか提出</u> <u>しましょう。</u> ※テスト当日、帰りの会までに国語係が集め、 学年室前に置いておく。	2/19 (月)
	2 限	英語	【次のことができるかをはかるテスト】 ○人や物を比較して表現する。 ○自分の一番好きなものを伝えたり、相手の一番好きなものをたずねたりする。 ○人や物を比較して同じくらいであることを説明する。 ○自分の好みや要望を伝えながら買い物をする。 ○数値やグラフを使って調査の内容を伝えたり、調査結果を英語で読み取ったりする。 ○物語を読んで内容を理解する。 ○「～される」「～されている」の表現を使って、人や物を説明したり、問答したりする。 ○自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝える。 ※リスニングあり	◇教科書 P83～116 ◇ワーク 下巻 P36～68 ◇Can-Do 場破り Unit6～Unit7 ◇単元テスト Unit6～7	●こつこつノート2回分 <u>未提出者のみ</u>	
	3 限	理科	○重要語句は、 <u>教科書表記で正しく書ける</u> ようにしましょう。（漢字は漢字、カタカナはカタカナ）※漢字指定あり ○電力、電力量、圧力、湿度の計算を理解しましょう。 ○電流と磁界、力の関係を理解しましょう。 ○ワークや単元テスト問題を復習しましょう。 ○教科書やノート、実験プリントの内容を確認しておきましょう。	◇教科書 p186～p260 ◇理科の学習 p76～105、108、109 ※p112、117～125 の教科書該当範囲 ○単元テスト、授業で配付したプリント ○理科便覧 該当する範囲	なし	

テストでは、
【直定規】を用意する

2/20 (火)	I 限	社会	○单元テストやワークからそのまま出題されている問題もありますので、確認をしておきましょう。 〈歴史〉 ○革命の中身やできごとが起きた順序について確認をしておきましょう。 ○開国後の日本の経済の変化について確認をしておきましょう。 ○外国との条約とその中身について確認をしておきましょう。 ○人権宣言や独立宣言などの資料の中身と年代を確認しておきましょう。 ○幕末のできごとの流れを確認しておきましょう。 ○薩摩藩や長州藩の中心人物のしたことなどを確認しておきましょう。 〈地理〉 ○各地方の名産や、特色をまとめておきましょう。 ○各県の農業生産額などの特徴をまとめておきましょう。 ○各地方の祭りや伝統的工芸品についてまとめておきましょう。 ○地名や地形名を確認しておきましょう。 ○各地方の雨温図や気候を確認しておきましょう。	〈歴史〉 ○教科書 P150～P167 欧米における近代化の進展 欧米の進出と日本の開国 ○社会ワーク P26～P33 ○单元テスト歴史④ 〈地理〉 ○教科書 P198～P265 (※P222～P231 中部地方を除く) 中国四国地方 近畿地方 関東地方 東北地方 北海道地方 ○社会ワーク P28～P80 ○单元テスト地理③④⑥⑦⑧	ノート	2/20 (火)
	2 限	数学	○速く正確に計算できるように、繰り返し練習しましょう。 ○ほとんどの問題が、数友や教科書、单元テストからの出題です。I度は解いておきましょう。 【図形の性質と証明】 ・図形(二等辺三角形, 正三角形, 平行四辺形, ひし形, 長方形, 正方形)の性質から, 辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の合同条件に基づいて, 合同な図形を見つけることができる。 ・ことがらの「逆」を述べたり, ことがらが誤っている際に反例をあげたりできる。 ・平行四辺形になるための条件を理解し, 四角形が平行四辺形かどうか判断することができる。 ・平行線にできる面積が等しくなる三角形について理解し, 面積が等しい図形を見つけたり, つくったりできる。 ・証明の問題を, 穴埋めの形式で出題します。 【場合の数と確率】 ・樹形図や表などを用いて, 数え漏れや重なりがないようにして場合の数を求めることができる。 ・同様に確からしくなるように場合分けをして, コインやサイコロなどの確率を求めることができる。	◇教科書 p.124～p.171 ◇数友 p.88～p.121 ◇单元テスト⑤ ◇授業内で使ったプリント <div>テストでは, 【直定規】を用意する</div>	提出物はありません。次に行う单元テストで, ノートと数友を回収します。	

○提出物は必ず期日までに出しましょう。期日後の提出は原則として受けつけません。

○提出物は記名してから提出しましょう。